魚津市市民自治推進会議（第2回）会議録【委員共有用】

日 時 令和6年10月18日（金）午後6時59分～8時28分
 場 所 魚津市役所4階第1委員会室
 出席者 委員：山根拓、野村博、大島恵、横田雄治、宮坂康典、宮坂由紀、野島裕子、木下理佳、
 高倉満広、飛世裕香（10名・敬称略）
 事務局：総務部長 広田雅樹、協働推進係長 石川竜也、協働推進係主査 折川直子

1 開会

2 協議事項

(1) 第1回会議及び委員への意見照会結果に係る確認等について	
事務局	資料1に沿って説明
意見等	なし
概要	・地域振興会の組織の役割明確化については、自治基本条例の一部改正ではなく「地域振興会の組織条例」を簡潔明瞭な内容で新たに制定する方向で委員から一定の理解を得た。
(2) 魚津市自治基本条例の一部改正（案）及び（仮）魚津市地域振興会組織条例（案）について (3) 質疑応答・意見交換	
事務局	資料2-1、資料2-2に沿って説明
意見等	
（委員）	魚津市の案と他自治体の条例を比較整理していただいたが、言葉の使い方について、地域運営組織・地域振興会や、認定・指定・届出の違いについて説明してほしい。
事務局	<p>名張市は「地域づくり組織を設立し、及びその代表者を選出したときは、規則で定めるところにより、市長に届け出るものとする。」、北上市も「市長に届出するものとする。」、一方で琴浦町は「町長は、地域運営組織として認定することができる。」と規定されている。</p> <p>魚津市では、自治基本条例で市民、市、議会を同列に定めており、既にある地域振興会に対して改めて届出してもらおうとか認定するという上から目線のような項目は載せなくてよいと考えている。</p>
（委員）	地域振興会に対する自治体の役割について、名張市、村上市では「協力及び助言」、北上市では「市長等の役割」、琴浦町では「町の支援」とあり、これについても説明してほしい。
事務局	琴浦町に近いイメージで載せたいと考えている。協力及び助言については、自治基本条例が既にあるため、この組織条例の案としては、「市長は協働による課題解決及び活動の支援に努めるものとする」とよりシンプルなものにした。

(委員)	<p>県外から来て魚津市に住んでいるが、地域振興会がどのようなことをしているかよく分かっていない。<u>年間でどのような活動をしているのかいくつか教えてほしい。</u>コロナで縮小されたままなのか、復活させていこうという動きなのかが気になる。</p> <p>また、条例ばかりが先に出ていて、<u>行政が地域振興会に何をしてほしいのか</u>がふわっとしている。具体的にどのような活動をしてほしいのか教えてほしい。</p>
(委員)	<p>去年からやっと普通の活動ができるようになってきた。10月の運動会は、コロナでやめていた時期もあったが、去年は13地区のうちできなかったところが結構あったが今年はほとんどの地区で開催されたが、午前中で終わるところもあった。●●地区は朝8時半から午後1時半までやったが、コロナ前は午後3時ぐらいまでやっていた。</p> <p>必要ないのではないかという部分や、役員の負担感があり、コロナをきっかけに縮小したところも結構ある。40～50代の方は仕事を持っているので、行事には出られるが役員として中心になるのは難しい。若い方が少しずつ出てきてくれるようになればいいなと思っている。</p>
(委員)	<p>●●地区で振興会を預かっている。</p> <p>コロナ前は、三大事業といわれる敬老会、運動会、文化祭をメインとして、あとは環境整備、防犯、交通安全、コミュニティバス、子どもたちの育成、高齢者学級等の活動をずっとやってきた。</p> <p>コロナになってすべてできなくなったが、各団体の代表者と今後どうしていくかを議論してきた。復活できるものは復活していこうと相談したが、一旦やめたものは一からのスタートとなり、なぜやる必要があるのか、地域コミュニティの大事さ、人と人との繋がりの大事さを口説くところからはじまった。</p> <p>去年はコロナ前の事業の7割程度まで回復し、参加人数は6～7割程度であった。コロナにより、楽しく安全にできる工夫と知恵が生まれ、今年はコロナ前と同等の事業をほぼ順調に進めている。</p>
(委員)	<p>●●地区は、人口が減り、同じ顔触れで10年経ったら10歳みなさん年を取り、パワーが少しずつ薄れてきている。また、小学校の統合により校舎がなくなり、グラウンドも荒れ放題になっている。</p> <p>年数が経ち、人も地域資源も変わっていく中でも、人と人との繋がりがや地区を盛り上げたいという思いがある人たちが集まって、使えるものを使ってできるだけ中身の濃いイベントをやりたいという思いが最近強くなっている気がする。文化祭など行事の参加者が減っても、新企画をやってみたり地区外から人を呼んだり、知恵を絞って、社会や時代の流れに合わせて形を変えて継続している。</p>
(委員)	<p>●●地区では高齢化率が50%を超えている。</p> <p>コロナの規制が少しずつ緩くなってきた頃から、消毒や人数制限等を徹底して工夫していろいろな行事を行ってきた。</p> <p>運動会に関しては、コロナよりも高齢化により、一日開催は体力が持たない、テントを建てる力がないという現状で、午前中だけ開催している。高齢者ばかりで運動会に出られないという町内会もあるため、どなたでも来てもらえるフリースペースを設けている。</p> <p>今の役員は30年も40年も同じメンバーでやってきて80歳を超え、70代は若手という状況である。若い人たちにも参加してもらいたいということで、今地区に割と多く住んで</p>

	<p>いる 25 歳前後の人たちを巻き込もうとしている。大きな役割を渡すと逃げるが、ちょっとのお手伝いは喜んでするので、スタッフの楽しさを植え付けようとしている最中である。</p> <p>元々●●地区はお祭りやイベントが大好きなので、スタッフも張り切って一緒に楽しんでいる。取捨選択してやらなくなった行事もあるし新しく始めた行事もあるし、今は集まることを大事にしており、高齢者の消息確認にもなっている。高齢化により集まる人数が少しずつ減っているが、運動会は 400 人ぐらい来だし、防災訓練にも体育館にこんなに入っちゃいけないというくらい集まった。やろうということに乗っかってくれるという感じはする。いろいろなところにアンテナを張って、行事や若い人が参加してくれることを考えている。</p> <p>コロナでは、休んだことによりスタッフがやり方を忘れて段取りに時間がかかるようになったところはあるが、地区の人は集まることに飢えているので、楽しいことをすれば集まってくる感じはある。</p>
事務局	<p>自治基本条例の第 4 条第 2 項に、地域の特性および独自性を尊重した地域における自主的な活動を推進することが定められている。</p> <p>市としては、旧小学校単位の 13 地区で古くからの活動範囲として地域振興会を組織していただき、様々な地域特性の課題解決に取り組んでいただいている。</p> <p>自治体から全体に対していろいろなことを事業として行っていただくより、地域それぞれが住民のニーズを捉えて的確に対応していただいている現状があり、これからもきめ細かい取組みを行っていただくものが地域振興会だと思っている。</p>
(委員)	<p>参考にした自治体も同じようなことだと思うが、行政として地域振興会に指導したりする関係は想定していなくて、寧ろ地域の自発的な活動或いは地域に合ったやり方をサポートする関係でやっていけないかという考えがあると思う。</p> <p>新たに活路を見出して地域の人口を増やしたり、地域の魅力を新たに作ったりといった活動が時々紹介されている。地域の住民は、より個性的に有意義な地域にしていく努力をしていただいて、その中で地域振興会が鍵を握る役割があると認識している。</p>

(4) 今後のスケジュール

事務局	資料 3 に沿って説明
意見等	なし
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年 4 月の条例施行に向けて、内部の法制審査やパブリックコメントの期間を考慮すると、12 月上旬に第 3 回の市民自治推進会議を開催して委員各位に条例最終素案を確認いただきたい。 ・10 月 25 日（金）まで追加で意見があればメールで提出願いたい。

3 その他

地方自治法の一部を改正する法律（「指定地域共同活動団体」制度）の概要について
資料 4 に沿って説明

4 閉会

(終了 20:28)